

令和元年 7 月 26 日
 ニューズ証券株式会社
 長友 哲郎
 03-5466-1641

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

▶ 来週の日経平均予想

7 月 SQ2 週間後の終値は 21,658.15 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「7 月 SQ1 週間後の終値 (21,466.99 円) よりも 7 月 SQ2 週間後の終値の方が安くなる」でしたので、今回はデータが外れました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
週末の終値(もしくはSQ値)	次の週の検証	次の週の終値		検証結果	変動率	
5月17日	21,250.09(終値)	安くなる	5月24日	21,117.22(終値)	○	0.994
5月24日	21,117.22(終値)	高くなる	5月31日	20,601.19(終値)	×	0.976
5月31日	20,601.19(終値)	安くなる	6月7日	20,884.71(終値)	×	1.014
6月7日	20,884.71(終値)	安くなる	6月14日	21,060.56(SQ値)	×	1.008
6月14日	21,060.56(SQ値)	安くなる	6月21日	21,258.64(終値)	×	1.009
6月21日	21,258.64(終値)	高くなる	6月28日	21,275.92(終値)	○	1.001
6月28日	21,275.92(終値)	高くなる	7月5日	21,746.38(終値)	○	1.022
7月5日	21,746.38(終値)	高くなる	7月12日	21,742.57(SQ値)	×	1.000
7月12日	21,742.57(SQ値)	安くなる	7月19日	21,466.99(終値)	○	0.987
7月19日	21,466.99(終値)	安くなる	7月26日	21,658.15(終値)	×	1.009
7月26日	21,658.15(終値)	安くなる	8月2日			

次に来週の検証を行います。

8 月 SQ2 週間前の終値と 1 週間前を比較すると、24 年間で 15 回下落しています (①)。

また今回のように、8 月 SQ2 週間前までの 1 週間がプラスだったというのが 13 回あります。そのうち 7 回は 8 月 SQ2 週間前の終値より 1 週間前の終値の方が安くなっています (②)。

したがって、①、②より「8 月 SQ2 週間前の終値 (21,658.15 円) よりも 8 月 SQ1 週間前の終値の方が安くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

▶ 外国人の売買動向 (資料: 外国人の売買代金、信用残の推移)

7 月第 3 週の外国人は 1444 億円の売り越しでした。この週も日経平均が下落し外国人が売り越しという、いつものパターンです。これで 2 週連続の売り越しですが、先物は買い越しとなっています。なお先物の買い越しは 3 週連続なので、外国人のスタンスは一方的に売りということではないということです。

次に先週変化が出たドル建て日経平均でしたが、今週は一時高値を更新するかという水準までありました。ただ週末は再度 25 日移動平均線近辺で終わっています。煮詰まってきた



ニューズ証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

したので、来週以降は高値更新か、もしくは25日線を下回るかいずれかになってくると考えます。

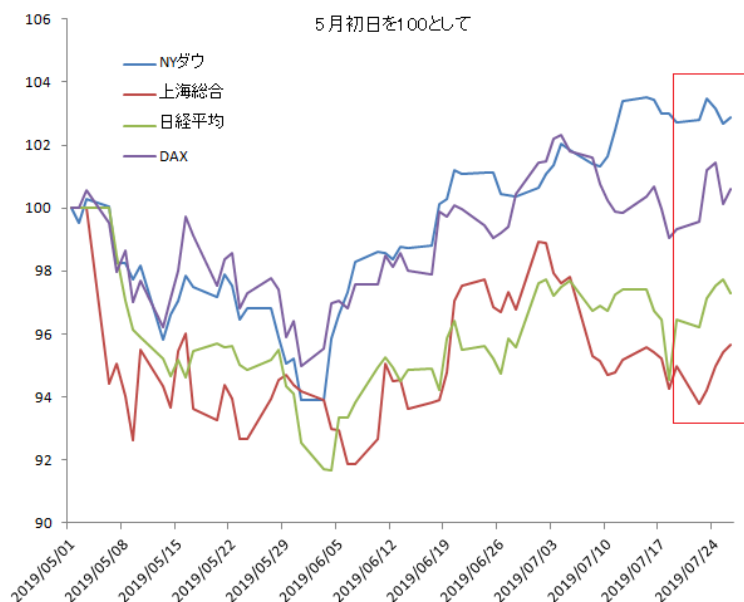
またドル円も一進一退といった感じです。先週は一時107円前半までありましたが、週末は108円の後半で終わっています。来週のFOMCを控え、利下げは織り込んでいますが、0.25%か0.5%かで予想は分かれているようで、もし0.25%の利下げであればもう少し円安に向かうと考えます。



次に世界の主要市場の動きはどうだったのでしょうか。

先週は7月以降の大きな動きとしては下向きだということを伝えていましたが、今週は概ね反発局面に入ってきました。特に上海総合指数は4日連続高と変化が出てきました。反対にこれまで史上最高値を更新するほど勢いのあったNYダウは横ばいとなっています。

NYダウ・上海総合・日経平均・ドイツDAX指数の比較チャート



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

▶ チャート分析

今週の日経平均は 191 円の上昇でした。3 週間ぶりの上昇となり、再度昨年 10 月からの値幅に対しての半値水準近辺まで戻しています。先週は一時 21,000 円を割れる場面がありましたが、翌日にはすかさず戻し、今週は上昇したということで底固くなってきたように思えます。大きな流れとしては再度下落するというのが私の発想ですが、そのタイミングが少し遅れる、つまりもう少しばかり上昇する可能性も出てきたのではないかと考えます。



ではどのあたりまでの戻りがあるのかですが、まずは節目である 22,000 円、次に 4 月の戻り高値である 22,362 円が目安となるでしょう。

さて先週参院選がありました。結果は大方の予想通り自民の勝利となりましたが、選挙後の 22 日の日経平均は下落しました。今回選挙戦がスタートしてから、2000 年以降（6 回）の参院選と日経平均の動きを紹介していました。

2000年以降の参議院選と日経平均株価

公示日	公示日の首相	公示日の日経平均	投票日	投票翌日の日経平均(B)	AからBの騰落率	内容	投票翌日から1週間後の日経平均(D)	BからDの騰落率	投票日1カ月後の日経平均(C)	BからCの騰落率
2001年7月12日	小泉	12,408	7月29日	11,579	-6.68%	小泉人気で復讐	12,244	5.74%	10,980	-5.18%
2004年6月24日	小泉	11,744	7月11日	11,582	-1.38%	民主改選第一党に	11,258	-2.80%	11,049	-4.60%
2007年7月12日	安倍	17,984	7月29日	17,289	-3.86%	自民1989年以来の大敗	16,914	-2.17%	16,013	-7.38%
2010年6月24日	菅	9,928	7月11日	9,548	-3.83%	民主-10 自民+13	9,300	-2.60%	9,293	-2.67%
2013年7月4日	安倍	14,019	7月21日	14,658	4.56%	自民+31 6年ぶり参院第一党	13,661	-6.80%	13,424	-8.42%
2016年6月22日	安倍	16,066	7月10日	15,709	-2.22%	自民改選議席の過半数を大きく上回る大勝利	16,723	6.46%	16,735	6.53%
今回7月4日	安倍	21,702	7月22日	21,417	-1.32%		今回も上昇?			
平均下落率を当てはめると21,216円				平均騰落率	-2.24%		5回の平均騰落率	-0.36%	平均騰落率	-3.62%

過去 6 回で公示日から投票翌日までは 6 回中 5 回下落しているということでしたが、今回もデータ通りマイナスとなりました。ただ下落率（今回は 1.32%）はこれまでの平均下落率（2.24%）ほどではありませんでした。

次にこれからの動きですが、このレポートを書いている時点では 22 日の終値を上回っていますから、今回は 1 週間後も上昇している可能性が高いです。そこで過去 6 回で 1 週間後がプラスだったパターンを見ると、プラスになったのは 2 回あります。そして 1 カ月後を見



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

ると1回は6.53%の上昇、1回は5.18%の下落と大きく変化していることが分かります。

来週はFOMCが最大のイベントになるでしょうが、参院選後のデータでもあるように、イベント通過後はどちらかに動いてくのではないかと考えます。来週はその方向性が見えてくる1週間になるのではないのでしょうか。

注意事項

- ・この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- ・この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

News 20190729-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号

〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル

加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会